

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成21年度採択採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
小型・軽量の航空機搭載型SARにより取得する画像データを用いた浸水域等の把握の実用化に関する技術開発（研究期間：H21年～H22年）	新潟大学 山口 芳雄	A
<p><研究概要></p> <p>近年、夜間・悪天候時等におけるSAR衛星による浸水範囲等の把握の有効性が、国内外の多くの災害において立証されている。しかしながら、衛星は時間分解能に課題を有することから、機動性に優れる航空機SARの早期の実用化が望まれている。</p> <p>本研究では、水害等発生時の浸水範囲等の把握に特化した実用性の高い小型・軽量・低電力の航空機SARを設計・開発し、その撮影技術や画像解析処理による浸水範囲、浸水深（河道閉塞含む）の準リアルタイム把握に関する技術研究開発を行った。</p> <p>開発した技術は実証フィールド（渡良瀬遊水地）での実証実験により、その有効性を確認した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は航空機搭載合成開口レーダによる氾濫域と湛水深測定に関わる技術的課題を明らかにした上で、基礎実験により観測スペックを定め、小型・軽量・低電力のセンサを開発し、データ解析手法を確立している。さらに、試験運用によってシステムの性能を評価し、実利用のための技術的課題の解決に成功している。</p> <p>ニーズに応じて短時間の準備で水災害モニタリングを可能にするコンパクトなシステムの利便性を効果的に活かして、法的な申請・許可の手続きに関する課題を行政と協力して解決することにより、実運用化を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い